

## 平成20年度 高等学校における学校評価（自己評価）の結果報告

平成20年度に高等学校において実施した学校評価（自己評価）の結果を報告致します。

### ■学校評価の実施方法

- 1) 実施時期 平成20年12月
- 2) 調査対象 高等学校本務教員
- 3) 評価項目 教育活動全般および学校運営に係わる項目について自己評価を行いました。
- 4) 評価方法 各項目について、5段階評価を行いました。
  - 5：その通りである（達成度 80～100%）
  - 4：どちらかと言えばその通りである（達成度 60～79%）
  - 3：どちらとも言えない（達成度 40～59%）
  - 2：どちらかと言えば違う（達成度 20～39%）
  - 1：全く違う（達成度 0～19%）

### ■評価の重点項目

- ◎建学の精神 報恩感謝
- ◎教育の目標 尊敬される人間の育成
- ◎教育方針 個性の尊重・実行から学べ・明朗と自主
- ◎平成20年度の学校目標

1. 授業に創意工夫を行い、分かりやすく、生徒の学習意欲を高め、学力を向上させる授業を実践する。
2. 生活の基本である定刻登校・礼儀・服装・マナー・清掃など、規律ある学習・生活態度を養う。
3. 将来を見すえ教育内容の充実を図り、個に応じた希望・目標を実現させるよう進路指導を実施する。
4. 学習・生活・進路など生徒の課題に対して、一人ひとりを大切にしたいきめ細かい相談・指導を行う。
5. より良い人間関係を築いていく態度を養い、周囲の人を尊重し、人権意識を高める教育を実践する。

### ■概 評

今回の学校評価は、教員による自己評価にもとづくものです。このような自己評価を行うことによって、本校がどのような理念と教育目標をもって教育を実践しているのかということ、改めて認識することとなりました。また、本校がどのように生徒を導き、育てようとしているのかということについても共通の理解を持ち、再確認する機会ともなりました。調査結果を分析しそこから見える課題を今後の学校改革・教育改善の目標として取り組んでいきたいと思っています。

私たち教員は、それぞれ目の前の教育課題に対して、精一杯取り組んでいます。しかし、一人ひとりの努力が実りある成果として現れるかどうかは、個人の努力だけでなく、仲間の教員との協力と連携によるところが大きいのと思います。それだけに私たちは共通の理念と教育目標をもって、確固たる教員のチームワークを築いていきたいと思っています。教員相互の連携と信頼を強化し、今後さらに研鑽を積んで本校全体の教育力を向上させ生徒に対してより良い教育を実践していきたいと考えています。

## ■評価の集計と分析

### 1. 学校運営

分類	評価の観点	評価項目	設 問	評価 平均値
学校運営	私学の 独自性	建学の精神について	建学の精神『報恩感謝 尊敬される人間の育成』を教職員がよく理解し、それに基づいて教育を行っている。	3.6
		教育方針について	教育方針「個性の尊重」「実行から学べ」「明朗と自主」を教職員がよく理解し、それに基づいて教育を行っている。	3.5
	教育課程	学習指導要領の対応状況	教育課程の編成は学習指導要領に沿っている。	4.3
		教科の教育計画について	年間を通じた教育計画を教科別に立て、シラバスに沿って指導している。	3.8
	教職員 連携	教員・教科間連携状況	教育課題について教員間で日常的によく話し合っており、教育活動が行われている。	3.3
		会議の有効性	職員会議・学年会議をはじめ各種会議・委員会が、情報交換と課題検討の場として有効かつ効率的に機能している。	3.3
	財務関係	教育の充実と 経費節減に関する意識	私学経営の財務状況に関心を持ち、学園の発展をめざして教育活動の充実を図っている。	3.6
			経費の節減や教育活動と財務との均衡のあり方を考えて、学校経営を行っている。	3.6
	情報公開	ホームページの活用状況	学校ホームページの公開掲示板等で可能な範囲の教育活動や情報の公開をしている。	4.1
	危機管理	危機管理対応状況	危機管理マニュアルを作成し非常時の役割を分担している。	3.6
緊急時に備え、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とっている。			3.7	

#### <コメント>

##### (1) 建学の精神

建学の精神をよく理解し、折りあるごとに想起しています。しかし、教育活動の根幹をなすものとして、さらに日常の教育場面に応じてその精神を活かしていかなければならないと考えています。

##### (2) 教育方針

教育方針にそって教育目標が立てられ教育活動が実践されています。伝統の中にも現在に生きる指針があることを理解し、教育目標と関連づけて日頃の教育活動に活かしたいと思っています。

##### (3) 教育課程

学習指導要領をふまえ、各コースの特色とカリキュラムに沿って指導にあたっています。

##### (4) 教育計画

年間の教育計画を立てて指導にあたっていますが、一部計画通りに進まないところもあります。授業の現状を見つめ、問題点を課題として改善し、より良い授業を実践していかなければならないと考えています。

##### (5) 教育課題

教育課題について、教師間の理解と協力の大切さを互いに認識してはいますが、目前の課題に追われ現状では教師間のコミュニケーションと連携は必ずしも十分とは言えません。教育課題を共通認識し一丸となって取り組めるよう、ぜひ改善したいと思っています。

##### (6) 会議が効率的

会議は定期的には開催していますが必ずしも有効に機能しているわけではないと思われます。会議の運営方法を改善し、中身の充実した有意義な課題検討の場としたいと考えています。

##### (7) 私学経営

経営と教育の均衡・バランスについては多くの先生方が意識しています。しかし、経営や財務の実態が分かりにくい所もあります。教員は生徒や教育課題に重点を置かざるを得ないのが現状です。

##### (8) 財務経費節減

教育の質を高めることが経営の安定につながると理解して教育実践にあたっています。一方、私学として、学校経営という視点も持ちつつ教育活動にあたるのが大切であると考えています。

(9) 学校HP

学校の情報公開は進みつつあり、ホームページを通して教育活動や学校の情報はほぼ伝達されていると思います。保護者や地域のニーズに応えるための情報提供をさらに工夫し充実させたいと思います。

(10) 危機管理

危機管理体制の整備や安全対策も進みつつありますが、何が危機管理・安全対策であるかの理解が不十分な部分もあります。ハード・ソフト面、心身・健康面の危機管理に備えたいと考えています。

(11) 安全対策

危機管理や安全対策が多様化しており、その対応が学校において重要であるとの認識を教職員が日頃から持って備えていることが大切であると思います。

2. 教育内容

分類	評価の観点	評価項目	設 問	評価 平均値
教育内容	教科指導	学習指導	授業に創意工夫を行い、分かりやすい授業を行っている。 生徒の学習意欲を高め、学力を向上させる授業を実践している。	3.9 3.7
		授業環境について	授業を受ける基本的な態度・マナーを身につけさせ、落ち着いた雰囲気指導している。	3.5
		情報教育	情報能力育成	生徒の情報活用能力の育成を図っている。
		情報モラル教育	情報発信に伴う責任など、情報モラルの教育に取り組んでいる。	3.6
	人権教育	人権教育体制	周囲の人を尊重し、より良い人間関係を築いていく態度を養う教育を実践している。	3.9
			人権にかかわる様々な問題に関心を持ち、人権意識を高める教育を実践している。	3.6
	環境教育	実践的態度の育成	自然を大切にする心と環境を保全しようとする態度を育てている。	3.1
	保健教育	保健・健康に関する指導について	心身共に健康で安全な生活を送るための行動や態度を養っている。	3.8
	生徒会活動	生徒会活動支援状況	文化祭・体育会などの生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	4.3
	その他	読書推進	図書館の利用促進など読書指導に取り組んでいる。	2.8
国際理解		他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。	3.8	

<コメント>

(12) 授業の工夫

基礎基本を理解させるために分かりやすい授業を工夫・実践することに努力されていると思います。

(13) 学習意欲の向上

学習意欲を高め、学力を向上させようと努力しています。しかし、生徒の意欲が高まり学力が十分に向上しているとは言えない現状もあり、さらに工夫と努力が求められていると考えます。

(14) 授業態度

授業態度や教室環境については半数はまずまず良い状態、半数はやや不十分と考えています。授業に集中できる分かりやすい授業の実践と教室における規律ある指導が求められています。

(15) 情報活用能力

情報活用能力については一定の成果は見られますが、日頃の教育活動や将来の社会生活を充実させるためにさらにスキルアップできているかどうかという点については不十分と思われるます。

(16) 情報モラル

パソコンや携帯電話の誤った使用や人を傷つける情報発信に対する対策が求められています。マナー・モラル・人権教育の観点からも、さらに適切な指導が必要であると考えています。

(17) 人間関係

友人関係を大切に、周囲の人たちと良好な関係を築くことの大切さをよく指導していると思います。

(18) 人権意識

人権意識を高め、周囲の人を尊重し、差別をなくそうとする態度を養う指導は行われています。しかし、生徒が人権意識をしっかりと身につけて、正しい判断と行動をとっているかについてはまだ不安を残しています。様々な機会を通してさらに人権教育を推進することが大切であると考えています。

(19) 自然の大切

環境教育は社会全体に浸透しつつありますが、本校ではまだ具体的な指導ができていないと思います。様々な教科で環境教育を行い、実践的な態度を育成する必要があると考えています。

(20) 心身の健康安全

心身の健康と安全教育は、保健体育科・保健室・相談室などを通して指導・啓発を行っています。定期的に保健室だよりで啓発しています。人間関係・心のケアの支援も必要であると考えます。

(21) 生徒会活動

文化祭や体育会など、生徒会が中心となって企画する行事が活発に行われていると思います。

(22) 図書館利用

図書館は充実した書籍を揃え読書や学習にふさわしい環境を提供していますが、生徒の利用は芳しくない状況です。読者への関心を高め教養を豊かにする観点から読書指導に努力していきたいと思っています。

(23) 異文化理解

友好校との交流、留学生の交換派遣などを実施していますが、国際理解教育は一部に留まっています。

3. 生徒指導・支援

分類	評価の観点	評価項目	設 問	評価 平均値	
生徒指導・支援	生徒指導	生活指導について	生活の基本である時間を守るという指導を行っている。	4.1	
			挨拶をはじめとして、礼儀を重んじる生活態度を養う指導を行っている。	4.1	
			服装・頭髪・持ち物など生活面での規則・ルールを理解させ守らせている。	3.8	
			生徒に清掃、校内美化に取り組むよう指導している。	4.1	
			家庭との連携状況	家庭と学校との協力と連携のもとに生徒指導を行っている。	4.4
	生徒支援	学習支援について	学習の遅れている生徒への支援を個々の生徒の実態に合わせて行っている。	3.9	
		カウンセリングマインド	生徒が抱えている問題に対して、一人ひとりを大切にしたいきめ細かい相談・指導を行っている。	4.0	
		進路指導について	生徒の将来を見据え、進路情報の提供や進路ガイダンスなどの進路指導を実施している。	4.1	
			個々の生徒に応じた希望・目標を実現させるよう、進路相談や進路支援を行っている。	4.1	
		内部進学について	学園の短大や大学への進学を希望する生徒には積極的に支援している。	4.6	

<コメント>

(24) 時間を守る

規律ある生活を指導し、ルールを守ることの大切さを常に指導しています。時間を守ることについても熱心に指導していますが、遅刻を大幅に減らすよう、さらに努力と工夫が必要であると考えています。

(25) 挨拶と礼儀

より良い人間関係をつくるためには挨拶の励行は大切です。日常的に実行できていますがさらにその成果を広げたいと思っています。



(26) 服装頭髪

生活指導は地道で粘り強く継続して行わなければなりません。ある程度、規律を保つことはできていますが、生徒が自主的に規律ある態度をとってくれるようさらに指導していきたいと思っています。

(27) 校内美化

環境整備、美化活動にも力を入れていますが、さらにその達成度をあげていきたいと考えています。

(28) 家庭の協力

生徒指導に関して、家庭との連携協力はある程度実現できています。生徒の良い面も気になる面も、家庭と学校が日常的に情報交換して、より良い指導を積み重ねていきたいと思っています。

(29) 学習支援

学習の苦手な生徒、遅れている生徒に対して、考査前や休暇中に丁寧にきめ細かく指導しています。日常的にもきめ細かい指導を取り入れたいと考えています。

(30) 個に応じた指導

一人ひとりが抱えている問題に目を向け、きめ細かく声をかけ相談に当たろうとしています。教員に余裕がなくて時間が取れないなど、まだ十分な対応ができていない点もあるように思われます。

(31) 進路指導

進路情報の提供やガイダンスの実施などを行い、将来の目標を決め、目標を達成できるよう、学年や時期に応じて適切に指導を行っています。

(32) 進路相談

進路目標を決めかねているときや、不安を感じているときなど、生徒の個性・実態に応じて相談にのり指導しています。さらにきめ細かくていねいにサポートしていきたいと考えています。

(33) 内部進学

総合学園として内部進学の利点と重要性を理解して指導しています。生徒の個性や適性・希望等をふまえて進路指導を行っています。

4. 教員研修・資質向上

分類	評価の観点	評価項目	設 問	評価 平均値
・ 教員 研修 資 質 向 上	教員研修	教員の資質向上について	教員間で授業内容を評価したり、生徒指導のあり方等、指導方法について意見交換などを行う機会がある。	3.0
		校内研修	教育問題や生徒理解、人権教育等、効果的な校内研修計画を立案し、計画的に教職員の研修を実施している。	3.3
		研修成果の共有状況	研修、研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制が整理されている。	2.9

<コメント>

(34) 教員間の意見交換

教員が指導方法等について相互に意見交換したり、学びあう機会を設けることについて、現状では不十分だと感じている人が多い。忙しいという実情はあるにしても、生徒へのより良い教育実践のために話し合いや経験交流を行い教育力を高めることが大切であると思われまます。

(35) 校内研修計画

校内研修は定期的実施していますが、十分ではないと多くの先生が感じています。教員としての資質向上を図りたいと思っている先生が多いようです。実りある研修にはゆとりも必要だと思っています。

(36) 研修報告

個々の教員が研修したことを周囲の先生に報告したり情報を共有したりすることは十分にはできていないと思われまます。教員の経験交流の場をつくり、学びあう環境づくりが大切だと感じています。